

## 8 月 定 例 教 育 委 員 会 会 議 録

- 1 開 催 日 令和元年8月1日(木)
- 2 開 催 場 所 新館10階 大会議室
- 3 出席した委員 小南教育長、吉田委員、播委員、坂元委員、廣岡委員
- 4 出席した職員 高井教育総務部長、山本教育指導部長、  
吉田教育総務部次長、杉本教育指導部次長、  
神吉教育指導部学校教育担当参事、  
山野教育総務課長、岸田学務課長、  
福島社会教育・スポーツ振興課長、  
境学校教育課長、今津青少年育成課長、  
加藤教育研究所長、藤崎教育総務課副課長、  
尾崎学校教育課担当副課長、岡本教育総務課管理調整係長
- 5 傍 聴 者 23人
- 6 議 事 の 要 旨
  - 開 会 午後1時30分
  - 会議録署名委員指名のこと  
坂元委員に決定
  - 7月定例教育委員会の会議録報告承認のこと  
(事務局から会議録朗読報告)  
承 認
  - 会議公開の可否決定のこと  
全ての議事を公開することに決定

(協議事項)

1 加古川市立両荘幼稚園の入園募集の休止について

(教育総務部次長から説明)

原案可決

委員：これまで事務局からは何度も現状の説明を受けてきたところではあるが、入園を希望していた保護者に対してどのような説明を行ってきたのか教えてもらいたい。

事務局：7月12日(金)に在園児及びふれあい保育に参加している保護者の計8名を対象にこのたびの入園募集の休止にかかる説明を行った。保護者からは、「せめて入園募集を行った上で決めてほしい」「市立幼稚園に通わせたいという要望があった場合どのように対応してもらえるのか」「他の市立幼稚園に通わせる場合、通園バスは出してもらえるのか」「3年保育を実施するなどサービスを拡充すれば入園希望も増えるのではないか」等の要望や質問をいただいたところである。

これらに対し、まず、入園募集を行わないことについては、現在の入園状況と今後の就学前児童数の推移、両荘地域における利用定員の充足状況等から総合的に勘案して、入園募集の休止を決定したことを説明し、入園募集を行うのであれば2年保育を全うする必要があると考えていることや、一旦募集を行った上で一定の人数に満たない場合は開園しないという前提で募集をすることは、休園決定時において他園に入園できる可能性を奪いかねないことから、休止する判断がこのタイミングとなったことへの理解を求めた。

また、現在の仕組みでは、1号認定を受けると公私問わず幼稚園や認定こども園に就園できるが、市立幼稚園に通わせたいという希望があった場合は、上荘及び平荘小学校区を園区とする幼稚園が存在しないことになるため、保護者の希望に沿った園に入園申込みができるように配慮したいと回答した。これについても、例えば、両荘地域の園区を他の幼稚園等に設定すべきではないかとの意見もあったが、それぞれの家庭の状況に応じて希望できる方が良いと考えており、その場合の送迎については、個別の対応になるため、通園バスによる送迎はできないと伝えたところである。ただ、その後園長を通じて、仮にやまて幼稚園に入園できることになった場合に、旧八幡幼稚園跡の送迎場所から既存の通園バスに乗ることは可能なのか、という問合せをいただき、それについては問題なく乗車可能であると回答した。

なお、幼稚園全体の利用者を増やす対策として、3年保育の実施や

預かり保育の延長、給食の提供を実施すべきではないかとの意見に対しては、両荘幼稚園だけではなく、全ての市立幼稚園に関わることであり、施設面や人的面等の様々な要因から、すぐの実施は難しいと説明した。

また、7月18日（木）には、両荘幼稚園の評議員に、保護者説明会の内容を踏まえて説明を行ったが、保護者であるPTA会長からは、改めて園の存続と入園募集の実施についての要望があり、これまでの我々の説明に対して当然のことながら納得できるものではないとの意見をいただいた。これについては、先の保護者説明会と同様の説明を行い、納得できないのは仕方がないことながら、理解はいただきたいと繰り返し説明を行ったところである。また、再開の条件を提示してほしいとの要望に対しては、今後状況が変化した場合に改めて判断することとなるが、現時点において、再開に関する条件を明示することはできないと回答した。なお、他の評議員からは、子どもの人数が減少しており、休園という方向性は止むを得ないものの、小中学校の在り方を含め、教育委員会としても、この地域のより良い教育の実現のために引き続き努力するとともに、保護者の不安に対してしっかりと対応してもらいたいと要望をいただいた。

最後に、全体を通じて、「休園するのであればもう少し早く知らせてほしかった」「保護者は無理でも、せめて園長にだけは休園の方向性を伝えておいてほしかった」という意見をいただいた。教育委員会としては、昨年度の入園募集において、在園児が2名になることが決定してから、今日に至るまで、様々な検討を重ねてきたところであり、当然のことながら、方針が決定するまでは保護者に不確定な情報を伝えることはできないが、少なくとも民間法人のこども園等の入園説明会や募集が始まる9月までのできるだけ早い時期には伝えなければならないと考えていたところである。しかしながら、最終的に方向性を確定するには、子ども・子育て支援事業計画におけるニーズ調査結果を待つ必要があったことから、結果として今の時期となり、保護者の方々が遅すぎると感じられるタイミングになってしまったことについては、率直にお詫びしたところである。

委員：評議員の意見と全く同意見であり、現状から休園することはやむを得ないと考える。保護者の個々の要望に全て対応するのは難しいが、制度上可能な範囲でできる限りの対応をしてもらいたい。

委員：保護者の思いや地域と幼稚園の関係を考えると難しい問題だが、一方で少人数のメリットと集団活動のメリットを比較すると休園もやむを得ないと考える。今後の保護者からの要望については、丁寧な対応をしてもらいたい。

委員：以前、両荘幼稚園を見学に行ったことがあるが、少人数特有のきめ細やかな保育である反面、集団活動ができない難しさを感じた。今回、休園となることもやむを得ないと感じているが、入園募集の再開や閉園等の協議の際には、地域や保護者の意見をよく聴き、対応してもらいたい。

委員：休園についてはやむを得ないと考える。今後、少子化が続くと他園でも同様の状況となる可能性があるため、慎重に進めてもらいたい。

## 2 学校規模適正化及び適正配置に関する基本方針の策定について (教育総務部次長から説明)

原案可決

委員：学校規模適正化及び適正配置に関する基本方針が策定されたが、まずはこの基本方針を各学校やPTA、学校運営協議会委員、各地域の連合町内会長に周知してもらいたい。

今後、学校規模適正化を進める上で、加古川市内の教育に地域間の格差があってはならない。しかしながら、画一的な方法で学校規模適正化を進めるということではないと考える。それぞれの地域が特色のある学校の在り方を真剣に考えるためにも、この基本方針を周知してもらいたい。

事務局：次回の定例校長会及び常任委員会で報告していくとともに、速やかに市のホームページ等にて広く周知したい。その上で、教育委員会としては各校区又は各ユニットで課題意識を持った協議が進むように取り組みたい。

委員：児童生徒と関わりのない市民に広く周知できる方法を含め、検討してもらいたい。

3 令和2年度使用義務教育諸学校教科用図書の採択について  
(教育指導部参事から説明)

・中学校用教科用図書

**【道徳以外】**平成27年度採択と同一の教科用図書を採択することに決定

委員：前回の教科書採択時には、非常に慎重を期して採択をした自負があり、学校現場においても、現在の教科書にて円滑な運営が実施されているため、同一の教科書を使用することで問題ないとする。

・小学校用教科用図書

**【道徳】**廣済堂あかつきの教科用図書を採択することに決定

委員：光村図書の教科書は、地域教材として阪神・淡路大震災が取り上げられていた。

廣済堂あかつきの教科書は、地域教材で相生市や朝来市、宍粟市などが取り上げられていた。子どもたちにとって身近な内容の教材があると興味や関心が湧くのではないかと考える。

委員：ひょうご教育創造プランにおいても、いじめ問題における対応の観点が含まれている。

光村図書と廣済堂あかつきの教科書は、いじめ問題の内容が充実しており、また、地域教材についても兵庫県に関連した内容があるため効果的であると感じた。

委員：教科書の内容がバランスよくまとめられている点やいじめ問題が充実している点、見やすさ及び読みやすさといった点で評価したが、廣済堂あかつきの教科書は記述させる箇所が使いやすく、優れていると感じた。

委員：日本文教出版の教科書は教える目的や内容がしっかりしていると感じたが、地域教材や内容の充実さでは廣済堂あかつきの教科書の評価をしたい。子どもたちは兵庫県の副読本やいじめ防止シートを持っており、これらを道徳の教材と関連させて授業を進めることが教師に求められる。その点からも廣済堂あかつきの教科書を推薦したい。

教育長： 「特別の教科 道徳」については、どの出版社も様々なテーマを取り上げ、工夫されていた。直接的にいじめ問題を数多く取り扱っている出版社や、直接的ではなく、命の尊さを扱っている出版社もあるが、自他の命を大切にするという視点は大変重要である。また、道徳において書くという活動は非常に重要であり、1時間の授業の中で1回は自分の考えや思いを書く時間が必要だと考える。以上の2点から命の教育が充実しており、また別冊のノートが使用しやすく、見やすい廣済堂あかつきを採択するということが良いか。

各委員： （異議なし）

教育長： 「特別の教科 道徳」については、廣済堂あかつきの教科用図書を採択することに決定する。

**【外国語】東京書籍の教科用図書を採択することに決定**

委員： 子どもたちにとって、どの教科書であれば、馴染みやすいかという観点で評価を行った。

三省堂は、辞書を作っているということもあり、各学年の付録にアルファベットカード等の工夫が見られる。また、單元ごとに振り返りまで構成されていた。

開隆堂の教科書は、英単語カード等が工夫されており、また、「CAN-DO マップ」で自己評価を行い、振り返りができる。

東京書籍の教科書は、Unit ごとに学習の進み方が分かりやすく、光村図書の教科書は、「Hop・Step・Jump」の3つの構成が分かりやすいが、他の出版社も同様の形式をとっており、大差ないと考える。

委員： 小学校の外国語においては、中学校と同様の内容を教えるのではなく、会話等から外国語に興味を持たせる教科書となっているかという観点で評価した。

東京書籍の教科書は平易な内容であるが、「Picture Dictionary」が活用しやすいと感じた。

委員： 学校図書と三省堂の教科書は、クラスルーム・イングリッシュが冒頭にあり、挨拶等の会話から勉強できる構成となっており、非常に効果的な教科書であると感じた。

ただし、5年生で英語に慣れ親しみながら勉強していくためには、東京書籍の「Picture Dictionary」が教科書と同時に使用でき、効果的であると感じた。

委員：小学校の英語については、中学校とは異なる内容で、かつ、日本語が使用されていても良いと考える。その観点からも、東京書籍の教科書は、記述中心の勉強方法ではなく、音から学び、話すことや聞くことから勉強することができ、また、「Picture Dictionary」は初めて英語に取り組む子どもでも馴染みやすいことから魅力的に感じた。また、英語の書体表記が統一されている点も評価できる。

教育長：東京書籍の教科書を評価した。どの教科書もQRコードを使用するなど、大変工夫された教科書になっていた。特に東京書籍は、音を十分聞いて慣れ親しんだ後に、文字指導に移っていくという学習の流れになっている。英語でのコミュニケーションはこれからの社会を生きる子どもたちにとっては大変重要であると考えます。英語を楽しむ子ども、英語が好きな子どもの育成という視点から東京書籍を採択するということが良いか。

各委員：（異議なし）

教育長：「外国語」については、東京書籍の教科用図書を採択することに決定する。

#### 【生活科】東京書籍の教科用図書を採択することに決定

委員：日本文教出版の教科書は、各ページに「学習のめあて」があり、3つの柱で分かりやすく提示している。

学校図書の教科書は、様々なカードが活用されており、子どもたちが使いやすいと感じた。

啓林館の教科書は、他の出版社の教科書が上下巻で表現方法が異なる中、「わくわく・いきいき・ぐんぐん」と同一表現を使用しており、分かりやすく構成されている。

大日本図書の教科書は、表紙が非常に独創的であると感じた。

教育出版の教科書は、各単元に「学びのポケット」があり、活用しやすい。

東京書籍の教科書は、「ポケットずかん」や「かつどうべんりてちょう」が効果的で活用しやすいと感じた。

採択については、甲乙つけがたい出版社もあるが、東京書籍を推薦したい。

- 委員：東京書籍の教科書は、表紙裏の「保護者の皆様へ」にて、家庭での活用が明記されている。
- 啓林館の教科書は、効果的な写真が多く、子どもたちに興味を持たせることができると考える。
- 日本文教出版の教科書は、各ページに「学習のめあて」があり、子どもたちに学んでほしい内容が明記されているため、分かりやすいと感じた。
- 採択においては、東京書籍を推薦する。
- 委員：学校図書の教科書を推薦する。下巻の28ページから35ページに定点観察にて、まちの四季や生活の様子が描写されており、暮らしの中での行動を学ぶことができる点を評価した。ただし、他の教育委員の意見も理解できるため、社会や理科との関連を考えると東京書籍の採択となっても良いと考える。
- 委員：啓林館の教科書は、「すたあとぶっく」が分かりやすいが、ページ番号が本編と別になっており、使用時の工夫が必要であると感じた。
- 東京書籍の教科書は、「ポケットずかん」や「かつどうべんりてちょう」が非常に活用しやすいと感じた。また、他の教科への展開という点についても優れていた。
- 学校図書の教科書は、「まなびかたずかん」が良く、定点観察の内容は魅力的である。
- 大日本図書の教科書は、表紙に凹凸があり、視覚だけでなく、触覚でもとらえられる点や昔の遊びが多く記載されている点を評価した。
- 日本文教出版の教科書は、写真が効果的であると感じた。
- 教育長：様々な意見があり、難しい採択となったが、生活科という教科の特色、低学年という発達段階を踏まえると、地域から学ぶ、家庭との連携は重要だと考える。
- 東京書籍は、地域との関わり、体験活動を重視した内容で、保護者との連携を図ることができるため、東京書籍を採択するということが良いか。
- 各委員：（異議なし）
- 教育長：「生活科」については、東京書籍の教科用図書を採択することに決定する。

【算 数】啓林館の教科用図書を採択することに決定

委 員 : 啓林館の教科書は、数の概念や問題の表記方法等から他の教科書と比較し、圧倒的に優れている教科書であるため、採択すべきだと考える。

委 員 : 啓林館の教科書は、図形や数字だけでなく、対称図形として用いられている平等院鳳凰堂の写真も左右対称で幾何学的に美しく、最も分かりやすい教科書であると考えます。また、筆算の繰り上がりの内容も視覚的に工夫されていると感じました。

教育出版の教科書は、和算が興味深いと感じましたが、啓林館を採択すべきと考えます。

委 員 : 啓林館の教科書は、単元ごとのレディネスチェックが有効であり、巻末付録の図形の学習工作物が工夫されていた。

日本文教出版の教科書は、2年生以上の「学び方ガイド」は切り離して使用でき、活用しやすい。また日常との関連が図られていると感じました。

大日本図書の教科書は、目次で学習内容の前後が把握でき、巻末の「ひらめきアイテム集」は家庭学習の役に立つと感じました。ただし、プログラミング学習の内容については、教師の活用次第であると感じました。

委 員 : 啓林館の教科書は、全国学力・学習状況調査で正当率の低かった問題を扱っている「復習」や各学年のまとめである「もうすぐ〇年生」は、学習への導入や復習だけでなく、つまづきを把握、解決できる点からも効果的であると感じました。

プログラミング学習においては、東京書籍の教科書の内容が充実していた。

教 育 長 : 「算数」については、各教育委員が啓林館を推薦しているため、啓林館を採択するということが良いか。

各 委 員 : (異議なし)

教 育 長 : 「算数」については、啓林館の教科用図書を採択することに決定する。

【理科】啓林館の教科用図書を採択することに決定

委員：学校図書の教科書は、表紙及び裏表紙に12人の科学者とその言葉が記載されている点に理科の教科書らしさを感じた。また、持続可能な社会や自然の多様性について学ぶ場面や資料が提示されている。

大日本図書の教科書は、5年生で加古川市の電気錠の学校門が掲載されており、子どもたちも身近に感じることができると感じた。

啓林館の教科書は、カードを使った工夫が見られ、その後の話し合いに展開できる。

このうち、一つの教科書を選択するとすれば、啓林館を推薦したい。

委員：東京書籍の教科書は、学習プロセスが明確であり、理科の調べ方の資料が豊富に提供されていた。

大日本図書の教科書は、「りかのたまてばこ」で、生活の中における学習と関連ある資料を取り上げ、児童の意欲を引き出していると感じた。

啓林館の教科書は、実験等器具の使い方、理科室の安全な使い方の指導内容が充実していた。令和2年度使用教科用図書加古川採択地区選定委員会委員（以下「選定委員」という。※）の意見としても啓林館の評価も高く、啓林館の教科書を推薦したい。

委員：啓林館の教科書は、中学校への展開が図られているため、評価できる。

学校図書の教科書は、表紙の科学者の写真が魅力的に感じた。

大日本図書の教科書は、理科の学び方や教科書の使い方が効果的であり、付録も魅力的である。

教育出版の教科書は、6年生の人体図が優れていた。

東京書籍の教科書は、分量が多い印象を受けた。

委員：理科という教科は疑問を発見、解決することが大事である。その観点から言うと各出版社の教科書は優劣をつけがたい。よって、安全や安心の内容が考慮されている啓林館の教科書を推薦する。

教育長：「理科」については、各教育委員が啓林館を推薦しているため、啓林館を採択するということが良いか。

各委員：（異議なし）

教育長：「理科」については、啓林館の教科用図書を採択することに決定する。

【体 育】 光文書院の教科用図書を採択することに決定

委 員 : 光文書院の教科書は、病気やけが等の健康を害するものに対する理解が得やすく、また、発達段階に応じた心身の発達の内容が工夫されていた。また、イラストや表が効果的だと感じた。子どもたちが学ぶ際や教師が教える際に、より充実した内容の教科書となっているのは、光文書院であると感じたため、光文書院を推薦したい。

委 員 : 東京書籍の教科書は、大きく、重いと感じたが、内容は充実しており、また、記述欄が大きく適切であった。

光文書院の教科書は、内容が見開きで構成されており、工夫されていた。喫煙や飲酒の今日的課題に関する内容が充実しており、子どもたちにとっては未来の話だからこそ印象に残る内容となっている点が非常に魅力的であった。

学研教育みらいの教科書は、手洗いやSOSの連絡先の内容が実用的であったが、採択については、光文書院を推薦したい。

委 員 : 学研教育みらいの教科書は、内容を振り返り、理解を深める構成となっており、子どもたちが学びやすいと感じた。「おうち」と「ちいき」のマークがあり、子どもたちの様々な生活の場が提示されていた。

光文書院の教科書は、巻頭にある学びの導入が丁寧であり、生活の振り返りから学習課題の把握へ展開することができると感じた。

文教社の教科書は、各章ごとに「学びの成果チェック」があり、子どもたちも学習状況を把握しやすいと感じた。

採択については、学研教育みらいと光文書院の教科書を推薦したい。

委 員 : 光文書院の教科書は、たばこや薬物乱用に関する記述が多く、また、これらの内容は小学校低学年から学習すべきであると考えている。

学研教育みらいの教科書は、見開きで内容が構成されているのが魅力的であり、また、思春期の悩みの記述が多い点を評価した。

採択については、光文書院の教科書を推薦したい。

教 育 長 : 「体育」については、各教育委員が光文書院を推薦しているため、光文書院を採択するということが良いか。

各 委 員 : (異議なし)

教 育 長 : 「体育」については、光文書院の教科用図書を採択することに決定する。

【国語】光村図書の教科用図書を採択することに決定

委員：全体の学びを俯瞰できる教科書となっているかという観点で選考した。

光村図書の教科書は、上下巻にある副題に対し、子どもたちがどのような印象を受けるか興味を持った。また、巻末の「言葉のたから箱」にて、感情等の表現用語一覧や学習用語一覧が本文と関連付けられている点に工夫を感じた。

東京書籍の教科書は、表紙の中央に大きな絵が描かれており、絵本のような趣で印象に残った。「言葉の広場」「言葉の練習」「伝えたい言葉」において、子どもたちの関心を高め、学びの定着が図られていた。

学校図書の教科書は、点字体験が唯一あり、学びにつながると感じた。また、言葉の選択や整理手法が興味深かった。

教育出版の教科書は、読書に関して手厚く、また、学習課題が明示されており、子どもたちが学びやすいと感じたが、採択については、光村図書と東京書籍を推薦したい。

委員：光村図書の教科書は、「読む」「書く」「話す・聞く」の構成が各学年で統一的に表現されていた。令和2年度使用義務教育諸学校教科用図書採択に関する選定報告書（以下「報告書」という。※）では、物語文が多いとあったが、分かりやすく工夫されていると感じた。

委員：可能な限り情緒豊かに文章を読ませるという観点で選択をすると、光村図書が突出していると感じた。

委員：光村図書の教科書は、副題が素晴らしく、また物語文が多いのが魅力的で、言葉の選択も効果的であると感じた。

東京書籍の教科書は、構成が見やすく、印象的であった。

学校図書の教科書は、伝統的な言語文化や神話を扱っている点が評価できた。

教育出版の教科書は、読書本の紹介数が豊富な点が魅力的だった。

採択に関しては、苦慮したが、東京書籍、光村図書の順で評価していた。ただし、他の教育委員の意見を聞いた上で、現場の教師が効果的に教えられる環境を教育委員会が提供する前提であれば、光村図書が採択されても問題ないと考えた。

教育長：「国語」については、東京書籍と光村図書のどちらの教科書も基礎基本の定着と思考力・判断力・表現力の育成というバランスのとれた教科書であった。全国的に読書をしない子どもが増加していることが課題となっているため、教科書で本の楽しさを味わい、進んで本を読もうとするきっかけとなるような子どもの育成を図っていきたいと考える。その点を踏まえて、光村図書を採択するということが良いか。

各委員：（異議なし）

教育長： 「国語」については、光村図書の教科用図書を採択することに決定する。

【書 写】日本文教出版の教科用図書を採択することに決定

委員： 日本文教出版の教科書は、四季の伝統文化の美を感じさせる内容となっていた。

教育出版の教科書は、伝統文化に関する内容が充実しており、古文書の文字を使用している点を評価した。

学校図書の教科書は、様々な地域の看板等に記載されている文字で、現代社会における文字を表現している点を評価した。

採択には、日本文教出版を推薦したい。

委員： 光村図書の教科書は、「書写ブック」で6年間の振り返りと学びの確認をしていた。

日本文教出版の教科書は、地域教材や人物教材が豊富で、また、封筒の宛名に神戸市やたつの市、宝塚市が使用されているため、子どもたちにとって親近感を持って学習できると感じた。

東京書籍の教科書は、文字を整えて書く方法を示す「書写のかぎ」により、理解を深めやすくなっていた。また、左利きへの配慮があった。

委員： 光村図書は、「書写ブック」が魅力的であった。

日本文教出版の教科書は、運筆や筆順が分かりやすかった。

委員： 日本文教出版の教科書は、運筆や筆順が分かりやすく、日本文化を感じられる内容となっていた。また、教科書大判の水書シートが効果的であった。

光村図書の教科書は、「しょしゃたいそう」が優れていた。

教育長： どの教科書も甲乙つけがたく、また、選定委員からも特段の差が認められないという報告であった。教育委員全員が、日本文教出版の教科書は親しみやすい内容であり、丁寧で分かりやすい指導内容になっているとの評価であったため、日本文教出版を採択するということが良いか。

各委員：（異議なし）

教育長： 「書写」については、日本文教出版の教科用図書を採択することに決定する。

【社 会】教育出版の教科用図書を採択することに決定

- 委員： 地域教材は、全出版社が兵庫県を扱っているため、大差はなかった。  
東京書籍の教科書は、6年生の教科書が分冊で政治・国際編及び歴史編となっている。また、社会的な視点という点で、空間・時間・事象の相互関係を比較・分類できる教材を提示していた。  
教育出版の教科書は、合冊による単元で政治単元と歴史単元に区分されている点に相違があった。また、小單元ごとにまとめのページがあり、振り返りやすく、「キーワード」や「学びのてびき」が効果的だと感じた。  
日本文教出版の教科書は、空間・時間・関係の3つの視点で整理され、学習計画が予習・復習につながると感じた。また、人物教材で兵庫県に関連する人物が使用されていた点が評価できる。  
採択については、東京書籍の教科書を推薦したい。
- 委員： 基本的には3社とも良くできていたと思うが、東京書籍の教科書は、最後に振り返りがあるため、理解を深めやすく、他の出版社にはないエネルギー教育の内容が評価できた。  
教育出版の教科書は、環境保全や防災等の内容が充実しており、持続可能な社会を考えさせる教材となっていた。  
日本文教出版の教科書は、「人権・福祉」「国際理解」等の現代的課題を取り上げていた点が評価できるが、表やグラフが分かりにくいと感じたので、推薦するならば、先の2社としたい。
- 委員： 教育出版の教科書は、一人の人間として大切に扱うという基本的人権を非常に強く重視した内容となっており、先の道徳と関連付けて教えてもらいたいと感じた。さらに、領土問題に関して、現在、様々な地域で問題が起こっている状況やこれまでの経緯等が、他の教科書に比べて詳細に記述されており、日本の領土の意味を多角的に考えさせる内容となっていたことから、採択については、教育出版の教科書を推薦する。
- 委員： 日本文教出版の教科書は、グラフや写真が分かりにくいと感じた。子どもたちが調べたり、考えたりする点では東京書籍の教科書が分かりやすいと感じた。
- 教育長： 「社会」については、東京書籍を推す意見と教育出版を推す意見、また、両方を推す意見と各教育委員の意見が分かれたため、この2つの出版社で再度意見をいただきたい。

委員：地域教材では、東京書籍の教科書について、明石市が紹介されているため、子どもたちにとって親近感を感じやすく、また、直接訪れることもできることから理解を深めやすいと感じた。ただし、教育出版を推す教育委員の意見とは次元の異なる内容であり、比較はできないと考える。東京書籍の教科書は、教師の使い方次第ではあるが、6年生の教科書が分冊であり、使いやすいと考えて東京書籍を推薦した。しかしながら、領土問題については、現在、東南アジアの中での日本の在り方を考える必要があり、子どもたちも学ばなければならない。教師の教える姿勢も大切だが、教育出版の教科書も採択に値すると考える。

委員：教育出版を推す教育委員の意見から、領土問題は、今後我々が直面する問題であるため、その点について詳細な記述がある教育出版も良いと感じた。

委員：領土問題については、教育出版の教科書が事実在即していると感じる。これからの子どもたちが領土問題を教科書で適切に学ぶためには、教育出版の教科書が良いと感じた。

教育長：「社会」については、教育出版の教科書を採択して良いか。

各委員：（異議なし）

教育長：「社会」については、教育出版の教科用図書を採択することに決定する。

委員：東京書籍の教科書は、社会を広く見ることができる教科書であり、教育出版の教科書は、社会の中における自己を確認できる教科書であると感じた。今回、社会の教科書は、教育出版が採択されたが、この採択の意図が教師に伝わることを期待する。

#### 【地 図】帝国書院の教科用図書を採択することに決定

委員：東京書籍の教科書は、表紙が印象的であり、また、子どもたちに広い視野を持たせるために、他の教科においても地図を利用させたい意図を感じた。

帝国書院の教科書は、地図の約束や見方が効果的であり、また、地図自体が圧倒的に見やすく、実用的であると感じた。採択については、帝国書院の教科書を推薦したい。

委員： 帝国書院の教科書は、「地図マスターへの道」で地図を理解するための工夫があり、低学年の子どもたちでも分かりやすいと感じた。

東京書籍の教科書は、気候と自然災害等の防災関連の内容を分かりやすく提示している利点はあったが、全体的に帝国書院の教科書が優れていると感じた。

委員： 帝国書院の教科書が、非常に見やすく好感が持てた。

委員： 他の教育委員と同意見である。

教育長： 「地図」については、帝国書院の教科書を教育委員全員が推薦しているため、帝国書院の教科書を採択して良いか。

各委員： （異議なし）

教育長： 「地図」については、帝国書院の教科用図書を採択することに決定する。

#### 【音楽】教育出版の教科用図書を採択することに決定

委員： 教育芸術社の教科書は、演奏についてプロのアドバイスがある点や地域音楽、郷土音楽を取り入れている点が評価できる。

教育出版の教科書は、鑑賞曲を含む曲の選定が標準的である点やページの構成が曲の雰囲気をも的確に表現しており、曲が印象に残りやすい点を評価した。

採択については、教育出版の教科書を推薦したい。

委員： 教育出版の教科書は、学年で教科書の大きさが異なっているという意図は把握できなかったが、「音のスケッチ」で、音を文字にさせる発想が非常に興味深かった。

教育芸術社の教科書は、表紙が6学年の教科書を並べると一つの絵になるのが興味深かった。また、裏表紙にも郷土芸能が取り上げられていた。

どちらの教科書も伝統的な歌や地域教材に関して差がなく、採択については決めかねている。

委員： 教育出版の教科書は、「まなびナビ」等で、学習の流れが提示されており、学習状況の把握ができると感じた。

委員： どちらの教科書も甲乙つけがたいと感じた。教育芸術社の教科書は、鑑賞曲についても郷土芸能が使用されており、魅力的と感じた。  
教育出版の教科書は、標準的な曲選定であり、見やすい内容となっているため、採択については、教育出版の教科書を推薦したい。

教育長： 各教育委員の意見からも内容的には僅差で教育出版の教科書が推薦されたと感じた。選定委員からの意見も教育出版が推薦されており、技能面での指導に効果的であるという点からも教育出版を採用するということが良いか。

各委員： (異議なし)

教育長： 「音楽」については、教育出版の教科用図書を採択することに決定する。

**【図画工作】** 日本文教出版の教科用図書を採択することに決定

委員： どちらの教科書も副題があるが、開隆堂の教科書の方が、より発達段階に応じて関連のあるものとなっており、「学習のめあて」が分かりやすく提示されていた。  
日本文教出版の教科書は、「屋内・屋外」「自然材・身近材」「個人・協同」の区分による実践形態が提示されていた。  
採択については、全体的に日本文教出版の教科書が使いやすいと感じた。

委員： 友達と協力して、より楽しく学習できる教科書は、日本文教出版であると感じた。

委員： 日本文教出版の教科書は、教科書で様々な作品を鑑賞できる教科書美術館が魅力的であった。また、友達との協同活動の中で学習できる点も評価した。  
開隆堂の教科書は、見やすく、道具の具体的な使用方法が効果的であった。  
採択については、日本文教出版の教科書を推薦したい。

委員： 開隆堂の教科書を推薦したい。開隆堂の教科書は、アルファベットが使用され、外国語科との関連も図られている。  
ただし、どちらの教科書の工作物がより興味が湧くかは個人によって異なるため、日本文教出版が採択されても問題ないと考える。

教育長： 図画工作については、友達と作り上げる楽しさ、その活動を通して、対話的な学びを進めることができるとともに、学習内容も系統的に、発達段階に応じて配列されていることから、日本文教出版の教科書を採択して良いか。

各委員： （異議なし）

教育長： 「図画工作」については、日本文教出版の教科用図書を採択することに決定する。

**【家庭】東京書籍の教科用図書を採択することに決定**

委員： 東京書籍の教科書は、見開きで構成されているなど学びやすいページ構成で工夫されていた。

開隆堂の教科書は、「学習のめあて」「技能チェック」にて、振り返りにも活用しやすい。各ページ下段の「ひとロメモ」は効果的に理解を促す補足になっている。

委員： 東京書籍の教科書は、写真や説明が理解しやすい印象を受けた。

開隆堂の教科書は、選定委員からの報告書の中で、食物アレルギーの内容を学習できる点が評価されていたが、食物アレルギーの内容については、低学年から指導すべきであると考える。

採択については、どちらも甲乙つけがたいが、東京書籍の教科書を推薦する。

委員： 東京書籍の教科書は、大判サイズで分かりやすい構成となっている。写真は性差なく使用されており、また、日本の伝統をすべての題材で使用している点を評価した。

開隆堂の教科書は、日本各地の料理が掲載されていた。

委員： 東京書籍の教科書は写真も図も見やすいと感じた。内容としては、大差ないため、東京書籍の教科書を推薦したい。

教育長： 家庭については、各教育委員の意見を踏まえて東京書籍の教科書を採択することとして良いか。

各委員： （異議なし）

教育長： 「家庭」については、東京書籍の教科用図書を採択することに決定する。

委員： 今回の採択により教科書が決定したが、事務局に検討してもらいたい事項がある。まず、各教科書にQRコードが使用されている。プロジェクターや電子黒板等にて、QRコードを使用する環境だけでなく、各個人の機器によりQRコードが使用できる環境を早急に検討してもらいたい。

次に、国語の教科書が光村図書の教科書に決定したが、教科書に推薦図書が多数掲載されている。この図書については、加古川市内の図書館には、必ず配備してもらいたい。また、可能な限り、各学校の図書室にも配備できるように検討してもらいたい。

そして、採択においては、分冊か合冊かという観点での評価ではなく、教科書の内容により評価をした。結果として、合冊の教科書が選定されている場合もあるため、教科書が非常に重くなっている。各学校においても使用しない教科書は置いて帰るなどの運用を含めたランドセルの重さの軽減対策をお願いしたい。

最後に、今回の採択の意図が各学校の教師に伝達されることを期待する。

委員： ランドセルの負担については、従前から検討を依頼しているが、現状改善が見られない。特に低学年におけるランドセルの重さの軽減について、工夫・改善をしてもらいたい。

○ 次期定例教育委員会予定日のこと

9月12日（木）午後2時00分から開催することに決定

○ 教育長諸報告

（1）令和元年度播磨東地区教育長会議について

7月11日（木）に加古川総合庁舎で開催され、「小学校における外国語活動・外国語科の充実」「スクールロイヤー制度の導入」「学校における働き方改革の推進」について各市町における取組と課題について情報交換を行った。

○ 教育総務部長諸報告

(1) (仮称) 神野台学校給食センター整備及び運営事業の落札者について

(仮称) 神野台学校給食センター整備及び運営事業について、落札者が決定したので報告する。

委員：東洋食品グループが落札者となったが、提案価格が高いにもかかわらず、性能評価点で32.5点の差がつき、最優秀提案者となった詳細な理由を教えてもらいたい。

事務局：加古川市学校給食センター整備運営事業者選定委員会においては、事業者の提案に対し、価格評価だけでなく、性能評価も加えて総合評価をしている。今回は性能評価にて32.5点の差がついた結果となったが、東洋食品グループの提案に対し、「地域社会・経済への貢献度」において、市内業者を多数含むグループである点が高く評価され、また、「衛生管理業務」において、衛生管理手法が高く評価された。この2点については、配点の大きい項目であるため、最終的に東洋食品グループが評価される結果となった。

委員：市民に公表する際には、価格が高いにも関わらず選定されている理由が分かるように公表するべきではないか。

事務局：市民に公表を行う際には、審査講評で評価の詳細な内容が分かるように周知する予定である。

以上、1件について報告

○ 教育指導部長諸報告

(1) 学校園訪問の日程調整について

学校園訪問（後期）を9月4日（水）から開催する。

(2) 全国中学校体育大会出場選手激励会の開催について

令和元年度全国中学校体育大会が、8月17日（土）から近畿ブロックで開催される。また、全国大会出場選手激励会を8月13日（火）に開催する。

(3) 第29回加古川市中学生海外派遣について

姉妹都市であるニュージーランドのオークランド市に、市内の中学生を10名派遣する。

(4) 第2回いじめ防止市民フォーラムについて

加古川市教育委員会主催「第2回いじめ防止市民フォーラム」を9月1日（日）に加古川市民会館中ホールにおいて開催する。

(5) 令和元年度 はぐくみの旅の実施について

8月23日（金）に、「令和元年度 はぐくみの旅～京都鉄道博物館日帰りバス旅行～」が実施される。

(6) 令和元年度 加古川市教職員研修会の開催について

8月20日（火）14時から、教育委員会と校舎長会の共催で開催する。

以上、6件について報告

○ 閉 会      午後4時55分

※については、事務局にて追記